

オーブニング・フォーラム
発酵する思考、
表出することば

Opening Forum
Fermenting Thoughts, Emerging Words

招聘作家:

佐藤文香
Sato Ayaka

モード・ジョワレ
Maud Joiret

ジョセフィン・ロウ
Josephine Rowe

ルス・ヴィトロ
Luz Vitolo

カン・バンファ
Kang Bang-hwa

2023年10月1日[日] 15:00-17:00(14時30分開場)

香老舗 松栄堂 薫習館 | 京都市中京区烏丸通二条上ル東側

無料・要事前申込 / 司会: 渡辺祐真[スケヂネ] | オンライン配信あり

主催: 京都文学レジデンシー実行委員会 共催: 立命館大学国際言語文化研究所 / 龍谷大学 / 京都芸術大学

協賛: 香老舗 松栄堂 / DMG森精機株式会社 / 株式会社ダサンマープル

助成: Arts Aid KYOTO(京都市) / ベルギー王国フランス語共同政府国際交流振興庁

後援: 京都市 協力: 株式会社丸善ジュンク堂書店 / 株式会社意文社 共同プロデュース: MUZ ART PRODUCE / CAVA BOOKS



0元は266



京都文学
レジデンシー

発酵する思考、 表出することば

オープニング・フォーラム

クリエイティブ・ライティングはひとつの魔法です。
ことばの力で、それまでなかった世界、現実にはない
世界を読者の脳内に出現させるのですから。
作家たちは、さまざまな体験や知識や考察を
自身の内側のために込み、ひらめきとともに作品を
作り出していきます。その過程では、おそらく作家自身も
予想しえない思考の深まりと、ことばの炸裂がおきます。
まるで自然界にいる菌が作用し、放置しておいた
穀物から美味しいお酒ができるかのように。
生成系AIの吐き出すことばと、作家のそれは、
似て非なるものなのでしょう。
文学者の内側で起きる思考の発酵、ことばの熟成、
世界の創出について、語り合います。

Creative Writing is a magic. With the power
of language, it conjures worlds that never existed,
imaginary universes in the reader's mind.

Writers hoard deep within an array of experiences,
knowledge, and thoughts to create spellbinding
enchantments sparked by inspirations. This alchemy
unfurls unfathomable thoughts and explosions
of language that even writers themselves wouldn't
expect, much like wild fungi crafting exquisite wine
from fruits and grains gathered. For this, the words
spun by writers stand apart from those churned out
by the AI generation.

The resident writers of Kyoto Writers Residency 02
will together explore how thoughts ferment,
words mature, and worlds erupt inside writers' minds.

佐藤文香 Sato Ayaka

日本/日本語



俳句作家。兵庫県生まれ。2006年に芝不
器男俳句新人賞 対馬康子奨励賞を受賞。
2008年刊行の第一句集『海藻標本』では
宗左近俳句大賞を受賞。編著書『天の川
銀河発電所』、小説集『そんなことよりキス
だった』、句集『菊は雪』など多数。

モード・ジョワレ Maud Joiret

ベルギー/フランス語



詩人・作家・パフォーマー。ベルギー、ブリュッ
セル出身。2019年のデビュー詩集Cobalt
はWallonia-Brussels Federationの新人賞
を受賞。後に映像化。第二作目のJERKで
は文字と音楽、踊りを掛け合わせたパフォー
マンスを披露。ベルギーをはじめフランス、
メキシコで雑誌やアンソロジーの出版も行
なう。

ジョセフィン・ロウ Josephine Rowe

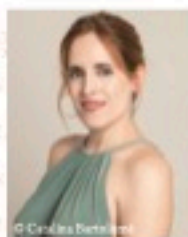
オーストラリア/英語



作家。オーストラリア出身。2017年と2020年
の2度『シドニー・モーニング・ヘラルド』最優
秀新人作家に選出。2017年のデビュー小説
A Loving, Faithful AnimalはMiles Franklin
Literary Awardの最終候補作として『ニュー
ヨーク・タイムズ』お勧めの一冊に選ばれる。
他の著作も含めドイツ語、イタリア語、フラ
ンス語に翻訳されている。

ルス・ヴィトロ Luz Vítolo

アルゼンチン/スペイン語



作家・脚本家・教師。アルゼンチン、ブエノス
アイレス出身。2020年のデビュー短編集
La lógica del dañoの原稿がボスヘル記念
短編小説賞最終候補作に選出され、
エル・ナボ財団賞未刊短編集部門を受賞。
2022年には第二作目となるFruta de verano
を出版。他の作家たちの創作指導も行なう。

カン・バンファ Kang Bang-hwa

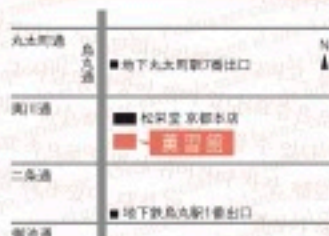
韓国・日本/韓国語・日本語



日韓文芸翻訳家。岡山県生まれ、在日韓国
人3世。ソウル在住。大学卒業後に渡韓。
日語にベタ・スラン『惨憺たる光』、ヒョン・ヘ
ヨン『ホール』、チャ・ウリ『私の彼女と女友達』
など多数。韓訳に古田足日『ロボット・カミイ』
をはじめとする児童書のほか、柳美里『JR
上野駅公園口』、三島由紀夫『文章読本』
『小説読本』(共訳)がある。

2023年、第2回京都文学レジデンシー(参加者は9月30日から10月22日まで滞在)の
ウェブサイトはこちら。進行中のイベント情報など、随時更新中。

<https://kyotowriters.org/residency-2023>



★松榮堂
薫習館
SUN JYUKAN

京都市中京区烏丸通二条上ル東側 ※駐車場あり
Tel: 075 212 5590 営業時間10:00-17:00(不定休)
・地下鉄 烏丸線 丸太町駅7番出口 徒歩3分
・地下鉄 烏丸線、東西線 烏丸御池駅1番出口 徒歩5分